

# 梅毒治療に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター薬剤部では、「梅毒患者に対するベンジルペニシリンベンザチン投与の忍容性の検討」を行うことになりました。

この研究は、梅毒の新規治療薬であるベンジルペニシリンベンザチンについて、治療経過を調査し、従来の治療法であるアモキシシリンによる治療と比較することで今後の梅毒診療に役立てることを目的としています。

この研究のため、2018年1月1日から2025年12月31日までに治療を開始した方の診療録等を調査します。対象となるのは血液培養検査より梅毒と診断され、治療を行った方で調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（身長、体重、主病名、処方歴、副作用、検査値など）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、個人を特定できないよう加工後、国立病院機構東京医療センター薬剤部薬務室で厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

データを研究に利用することを患者さんもしくは代理人の方が承諾されない場合は下記にご連絡下さい。未成年者の場合は、代諾者（未成年者に対しては親権者を代諾者とする）の方も患者さんと同様に拒否する権利を有します。

その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2025年12月

研究責任者

国立病院機構 東京医療センター 薬剤部

上田 真也

連絡先 03-3411-0111